

角栓が詰まって全然取れない オイリー肌にも!



LECTURE BY
美容セラピスト
奈部川貴子さん

ベイズガーデン代表、美容でも「お力のこころ」の心に通じて支えられるほど、ケアから改善まで、オイル一本で解決は出来ませぬ。

こんな人にこのケア

- ☑ 毛穴に角栓がたまりやすい
- ☑ 毛穴部分が赤く炎症を起こして目立つ
- ☑ 肌がザラザラしたり、あれたりしている

刺激を避けて、炎症、角栓詰まりから脱却

「このタイプの毛穴開きは、自分の皮膚によって毛穴の中と周囲が同様な炎症を起こしている場合がほとんど。その炎症をケアしない限り好転しません。カギはひたすら物理的な刺激を減らすこと。刺

激があるとお角質が厚くなり、角栓がたまりやすくなるので、手やコットンでの摩擦を避け、特に洗顔はクレンジングミルクでマイルドに。7~10日で角栓が少なくなるから試してみても、(奈部川さん)

MISSION 2 酸系ピーリングでマイルドに角質ケア

こすらず、つけるだけの酸系ピーリングを活用

角栓をたまりづらくするもう一つの方法が角質ケア。やはり物理的な刺激は避けたいから、酸系のピーリング剤を。こすらず、つけるだけでOK。負担をかけることなく、余分な角質を落とす。毛穴まわりの炎症を予防。



「酸系ピーリング剤は、角質を剥離させる働きがあります。角質が厚くなると、毛穴の開口部が狭くなり、皮脂が詰まりやすくなります。また、角質が厚くなると、毛穴の開口部が狭くなり、皮脂が詰まりやすくなります。また、角質が厚くなると、毛穴の開口部が狭くなり、皮脂が詰まりやすくなります。」

「酸系ピーリング剤は、角質を剥離させる働きがあります。角質が厚くなると、毛穴の開口部が狭くなり、皮脂が詰まりやすくなります。また、角質が厚くなると、毛穴の開口部が狭くなり、皮脂が詰まりやすくなります。」

MISSION 1 クレンジングミルクで角栓がたまりにくい肌にする

ミルクタイプの特徴から角栓のたまりを防ぐ

「油溶性の成分が主成分のクレンジングミルクは、皮脂を溶かしやすいため、角栓がたまりにくい肌を作ることができます。また、ミルクタイプは、肌を乾燥させずに、保湿効果も期待できます。」

「クレンジングミルクは、肌を乾燥させずに、保湿効果も期待できます。また、ミルクタイプは、肌を乾燥させずに、保湿効果も期待できます。」



MISSION 3 肌酸化を改善して皮膚の酸化も防止

肌酸化は角栓の発生にも関係

「肌酸化は角栓の発生にも関係があります。肌酸化が進むと、皮脂が酸化しやすくなり、角栓がたまりやすくなります。また、肌酸化が進むと、肌のバリア機能が低下し、炎症を起こしやすくなります。」



MISSION 4 高浸透ビタミンCで毛穴まわりの炎症を鎮静

高浸透ビタミンCで毛穴まわりの炎症を鎮静

「高浸透ビタミンCは、毛穴まわりの炎症を鎮静させる働きがあります。また、高浸透ビタミンCは、肌のバリア機能を強化し、肌酸化を防止することができます。」



Check!

「高浸透ビタミンCは、肌のバリア機能を強化し、肌酸化を防止することができます。また、高浸透ビタミンCは、肌のバリア機能を強化し、肌酸化を防止することができます。」